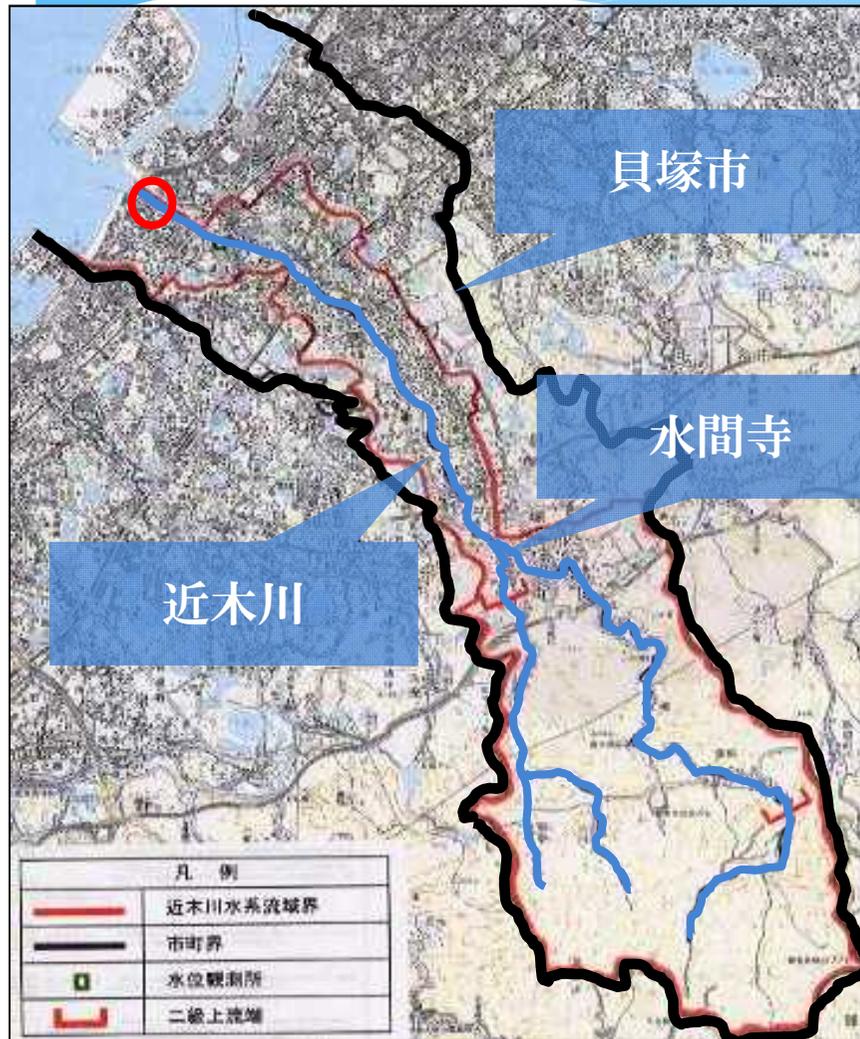


二級河川近木川 干潟自然再生ワンド整備について

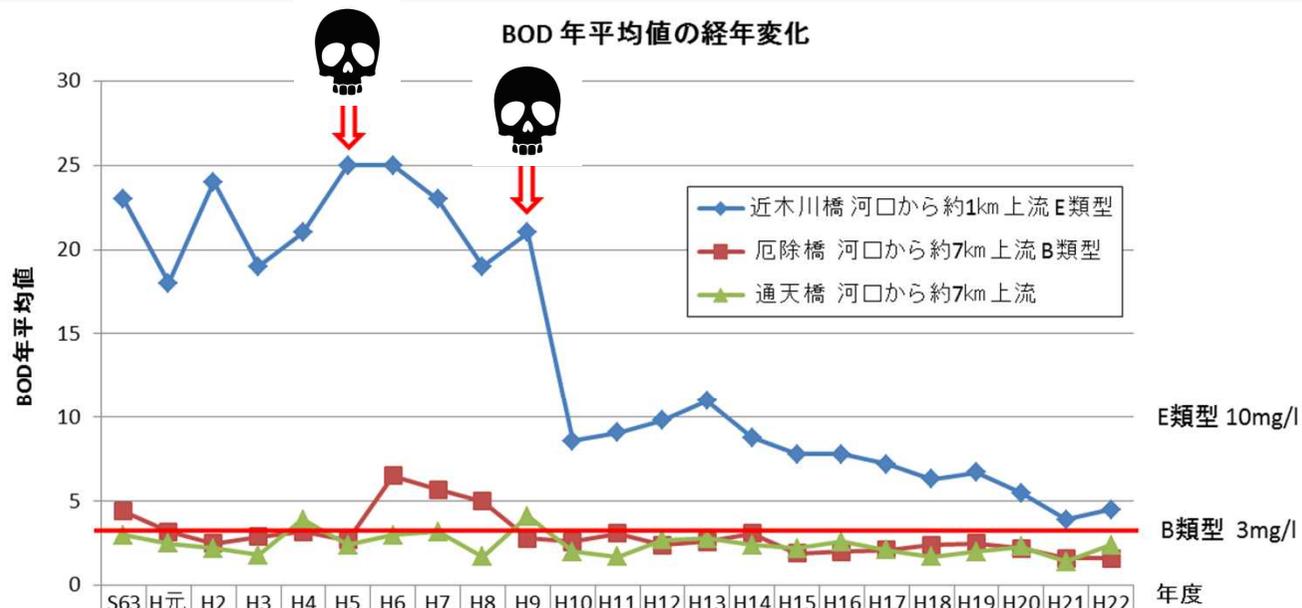
大阪府 岸和田土木事務所
建設課 高橋 靖次

近木川の紹介



- * 和泉葛城山系が源流
- * 延長15.45km
- * 流域面積27.33km²
(貝塚市の面積 約44km²)
- * 貝塚市域のみを流れる
大変珍しい川

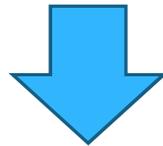
近木川ワンド整備の背景①



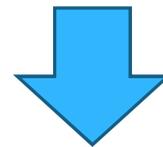
	S63	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
近木川橋 河口から約1km上流 E類型	23	18	24	19	21	25	25	23	19	21	8.6	9.1	9.8	11	8.8	7.8	7.8	7.2	6.3	6.7	5.5	3.9	4.5
厄除橋 河口から約7km上流 B類型	4.4	3.2	2.5	2.9	3.2	2.7	6.5	5.7	5.0	2.8	2.6	3.1	2.4	2.6	3.1	1.9	2.0	2.1	2.4	2.5	2.2	1.6	1.6
通天橋 河口から約7km上流	3.0	2.5	2.2	1.8	3.9	2.4	3.0	3.2	1.7	4.1	2.0	1.7	2.7	2.8	2.4	2.2	2.6	2.1	1.7	2.0	2.3	1.4	2.4

近木川ワンド整備の背景②

地域住民・団体 (近木川市民フォーラム、花いっぱい運動、近木っ子探検隊、近木っ子会議) などによる様々な活動

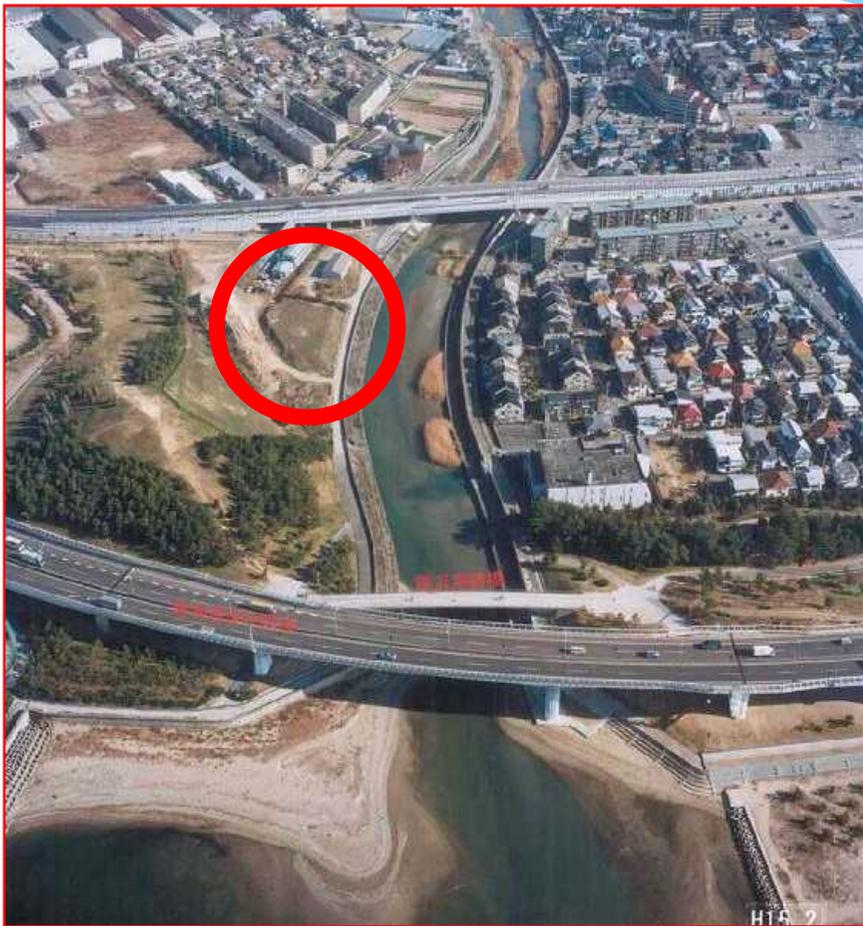


平成10年6月 **近木川河口汽水ワンドをつくる会**が発足
(貝塚市町会連合会、貝塚市立自然遊学館、グリーンカレッジ、近木っ子探検隊、近木っ子会議)

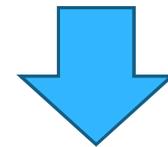


平成11年3月 **「近木川河口改善計画9902」**の提案がされる

近木川河口改善計画9902



既設護岸を壊し、
旧河川敷を掘削して
ワンドを整備する。



干潟の再生！

近木川河口改善計画9002

- *「川に川をつくってもらおう」
- *「人は少しだけ手伝う」
- *「地域の人を巻き込む」

汽水ワンド整備に向けて①

平成15年度 近木川汽水ワンド整備事業 開始



- * 流域全体での『豊かな川づくりに向けた拠点』
- * 河口部の貴重な生態系を学ぶ『環境教育の場』
- * 子供たちの『遊びの場』
- * 地域の人々の『憩いの場』

汽水ワンド整備に向けて②

平成15～21年度

計8回にわたりワークショップを開催



構成メンバー

- * 近木川河口汽水ワンドをつくる会
- * 市民団体
- * 学識経験者
- * 貝塚市
- * 大阪府 など

汽水ワンド整備に向けて③

平成18年

近木川汽水ワンド 本格着工

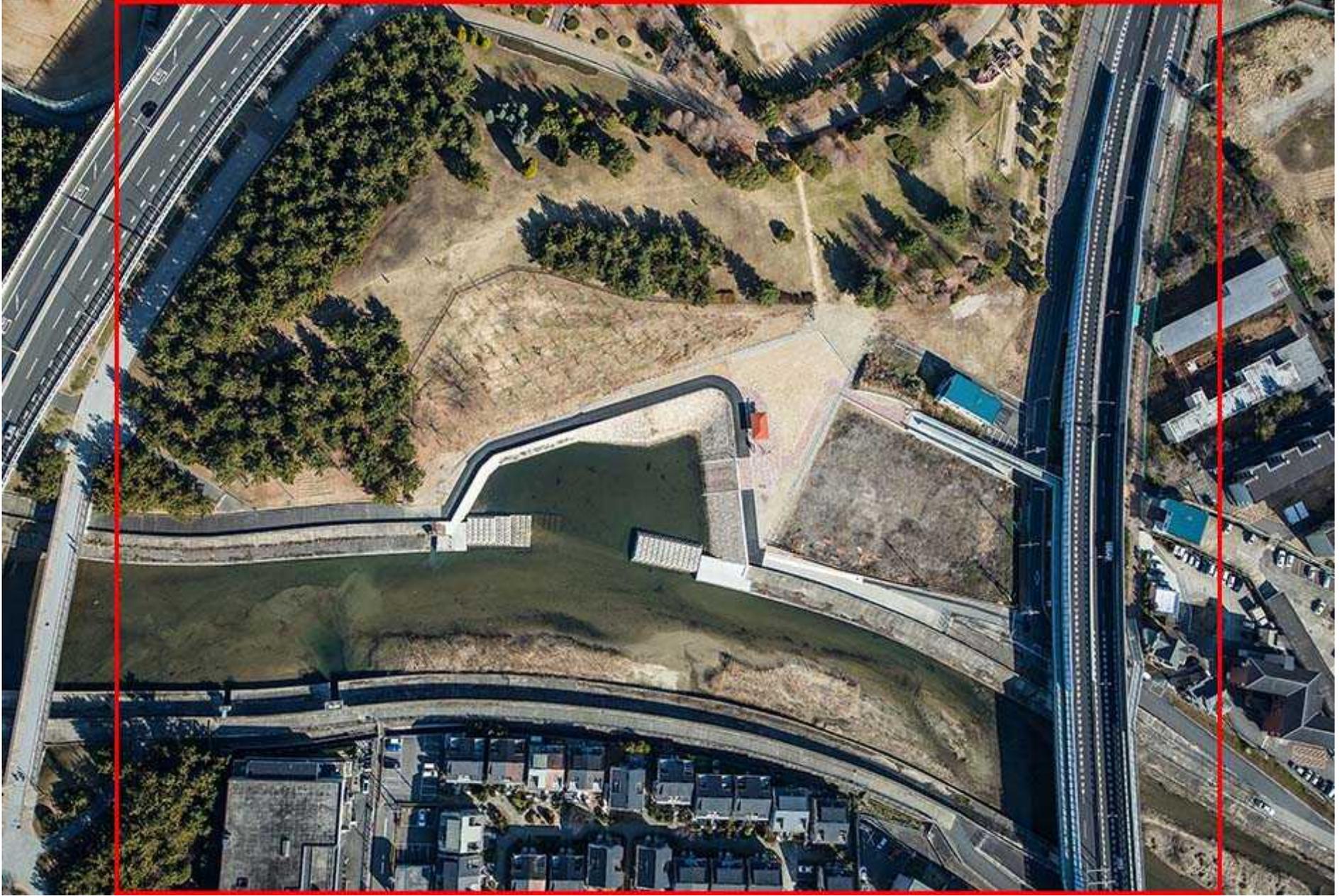


汽水ワンド整備に向けて④

平成24年

近木川汽水ワンド 整備完了





現在の汽水ワンド①

*「川に川をつくってもらおう」

川(自然)の力により干潟が形成されるのを待つ。



現在の汽水ワンド②



ハクセンシオマネキ



シオマネキ



アシハラガニ



カワウ

現在の汽水ワンド③

* 近木川汽水ワンド 運営会議の開催

ワンドが有効活用されるように、

引き続き意見交換を行っている。



現在の汽水ワンド④

* 貝塚市内小学校の理科の先生による 生物採取会

学校の授業などでのワンド活用に向けて調査。



貝塚の中高中生ら 落書きをきれいに

貝塚市の中学、高校生ら約40人が7日、府道大阪臨海線沿いの緑道道に広がる壁面の落書きを消す作業に「スマイマ」活動を行った。写真



地域の町会連合会が、落書きの多い壁面をきれいにすることや、環境美化意識を高めようと企画。今年4月に発足したばかりの貝塚習志野校生ボランティアチームや貝塚ミニマ・リトルリーグ野球協会の中高中生らに呼びかけて実施した。

参加者は約1時間、汗を流しながら、「スプレー塗料」や油性ペンなどを書かれた落書きを1つ1つ取り除く作業をした。貝塚南高2年の野崎彰乃さん(16)は「落書きを消す人は考えないかもしれないけれど、きれいにするのは大変。少しでも消えるとうれしいな」と話していた。

未来の汽水ワンド①

*近木川ギャラリー

パネルを設置し、写真や絵画を飾ります。

貝塚市のこどもたちの絵画展を行うほか、
近木川の生物や地域の方の取組などを紹介します。
近木川情報発信基地のひとつになります。

未来の汽水ワンド②



未来の汽水ワンド③



未来の汽水ワンド④

*川づくりからまちづくり

汽水ワンドが、

近木川の「川づくり」の拠点となり、

近木川での活動が

貝塚の「まちづくり」へと繋がるように

願いをこめて、「しかけ」ていく。